

◆大洲市体育施設条例の一部改正について

説明 これまで観光施設として運営されていた肱川町の「鹿鳴園」等の体験交流施設の運営方針の見直しを行い、体育施設として活用するため条例改正を行うもの。本条例改正に伴い、テニスコート及び望湖荘について、名称を「大洲市鹿鳴園ふれあいパーク」とし、他の体育施設との共通利用や各種団体との連携を強化し、市民の健康維持増進に活用していく。

要望 今回、宿泊施設のケビンは廃止されると聞いている。テニスコート及び望湖荘については、4月から所管部署が代わるが、春休みの期間に利用する団体も多いと思われるので、ホームページを始めとした情報の更新を進めてもらいたい。

《令和7年度大洲市一般会計補正予算》

◆児童生徒用木製机椅子整備事業について

説明 本事業は、小中学校における児童・生徒用の机椅子が旧JIS規格であること、および老朽化しているなどの課題を解消するため、令和5年度から令和8年度までの4年間で地元産木材を使用した木製机椅子の制作を行うものであるが、既に納品された椅子の強度等に仕様上の課題が確認されたことから、受注者と協議を行い製造工程等の見直しを行ったことにより、スケジュールに遅れが生じ、契約期間内に事業を完了することが困難となったため繰越予算とするものである。なお、残りの450セットについては本整備期間を1年間延長し、令和9年度までに整備を完了させることとしている。

問 どのような不具合が発生したのか。

答 背もたれの部分に亀裂が入った等の報告を受けている。その部分はビス止めや補強材を入れるなどの修繕を行っている。

問 不具合の発生件数について教えてほしい。

答 これまでおよそ1,000組納入されているが、軽微なものを含めて約100件の不具合が発生している。なお、発生した部分は事業者負担で修繕を行っているが、今回の仕様変更により、今後は同様の不具合は改善されると考えている。

《令和8年度大洲市一般会計予算》

◆地域おこし協力隊活動経費について

説明 国が進める中学校部活動の地域展開を円滑に推進するため、専門的な知識や情熱を持つ地域おこし協力隊を公募採用し、学校と地域をつなぐコーディネート業務の核として配置する経費を計上するもの。

問 具体的な活動内容はどのようなものか。

答 主に総合型地域スポーツクラブの管理運営の補助や受け皿となる地域クラブの設立補助、指導者人材バンクの設置や管理運営、指導者の派遣に係る調整等のマネジメントを行うこととしている。

問 部活動の地域展開にあたり設置している地域部活動推進協議会の構成を教えてください。

答 大学の准教授をはじめ、中学校長、PTA、スポーツクラブ等の各団体の代表者に委員を務めていただいている。

要望 部活動の地域展開における一番の課題は人材の確保であると考えている。実際に地域で子供たちを教えている地域の方の意見も大事にしてほしい。

《令和8年度大洲市病院事業会計》

説明 病院事業会計において、令和8年度の業務予定量は、年間患者数を107,181人と見込み、その内入院患者を31,025人、外来患者を76,156人とし、病院事業収益は35億2,957万6千円で前年度比0.17%の減、病院事業費用は34億5,376万9千円で前年度比1.22%の減となる。

問 現時点での経営状況について教えて欲しい。

答 令和7年度末で5億7,123万2千円が欠損金となる見込みである。

問 大洲病院は公立病院として維持していく必要があると考えているが、市長部局と十分協議は行っているのか。

答 一般会計からの繰入金による支援を受けている状況である。また、病院内においても昨年夏に経営改善の検討委員会を立ち上げ、業務の効率化、経費削減を進めている。公立病院として存続できるよう引き続き努めていきたい。